



目次

○ 定例会で決まったこと・議会日誌	2
○ 議決結果・賛否の分かれた議案・意見書	3
○ 代表質問・議会スナップ	4～5
○ 一般質問に10人	6～10
○ 名寄振興公社のあり方に関する特別委員会審議経過	11
○ 予算審査特別委員会の概要・総括質疑	12～13
○ 各常任委員会活動報告・議員協議会	14～16
○ 新型コロナウイルス感染症に対する対応について・行政視察の受入状況	17
○ きぼう・編集後記	18

令和2年 第1回定例会 2月25日～3月25日

新型コロナウイルス感染症に関連し3氏による緊急質問を実施。緊急的な経済対策に関する補正予算案を原案可決

令和2年第1回定例会は2月25日～3月25日までの30日間を会期とし、3月9日には新型コロナウイルス感染症対策に関して3氏が市のこれまでの対応、地域経済対策および今後の情報発信などについて緊急質問を行い事態に対する緊急的な対応について市の姿勢を質しました。また、新型コロナウイルス感染症に対する北海道の「緊急事態宣言」並びに名寄市の対応に議会も足並みを揃え、全市挙げての感染防止策を最優先すべきと判断し、予定していた代表質問及び一般質問を取りやめたことから、名寄市議会基本条例の規定に基づき、発言通告に基づき理事者答弁を文書で求め、3月16日に文書で回答を得ています。そのほか、条例の改正、工事請負契約の変更、補正予算などの議案28件を原案のとおり可決しました。

条例の改正

☆名寄市へき地保育所条例の一部改正について

砺波地区の幼児保育を担っていた砺波保育所の入所児童数の減少に伴い、砺波地区住民などとの合意のもと、本年3月31日で閉所することとなつたため条例の一部を改正しました。

主な補正予算

☆ふるさと応援事業費

ふるさと納税寄附金の増額に対応し、寄附記念品発送業務に対する委託料として549万9千円を増額しました。

☆地域づくり総合交付金事業費

道北なよろ農業協同組合が

実施した野菜集出荷冷蔵施設改修工事、智恵文穀類乾燥調製施設増強工事、風連農業倉庫低温化工事に対する補助金として7170万円増額しました。なお、財源は、道補助金により全額補填されます。

☆産地パワーアップ事業費

収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、農業者が行う高性能な機械・施設の導入に対する補助金として691万円を増額しました。なお、財源は、道補助金により全額補填されます。

☆名寄振興公社経営改善事業費

名寄振興公社に派遣した職

員の人件費相当分を負担するため、450万円を増額しました。

☆中小企業融資保証料補助金

新型コロナウイルス感染症対策緊急資金創設に伴い、借受者の負担軽減を図るため、中小企業特別融資保証料補助金として742万5千円を増額しました。

☆中小企業特別融資預託金

新型コロナウイルス感染症対策緊急資金創設に伴い、融資の運転原資を金融機関へ預託するため、中小企業特別融資預託資金預託金として500万円を増額しました。

☆新型コロナウイルス感染症対策事業費

新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から保育所等で使用する消毒用資材や備品などの購入経費として345万5千円を増額しました。

☆商業指導育成対策事業費

※令和2年度予算の補正
新型コロナウイルス感染症による影響が特に大きい市内飲食店で利用できるプレミアム付き商品券発行経費に対する補助金として1550万円を増額しました。

人事案件

◆教育委員

松田 潤 子氏（再任）
名寄市風連町字中央553番地1

議会日誌 1～3月

1/15	企業会計に関する研修会
1/17	議会報特別委員会 議会運営委員会
1/20	名寄振興公社あり方特別委 経済建設常任委員会
1/21	市民福祉常任委員会
1/23	市民との意見交換会
1/24	市民との意見交換会
1/27	上川北部市町村議会議長会(美深町)
1/29	全国市議会議長会基協議事理事会(東京都)
2/3	総務文教常任委員会

2/6	名寄振興公社あり方特別委 市民福祉常任委員会
2/14	各会派代表者会議 経済建設常任委員会
2/17	市民福祉常任委員会
2/18	各会派代表者会議 総務文教常任委員会
2/19	名寄振興公社あり方特別委
2/21	議会運営委員会 議会報特別委員会
2/25	令和2年第1回定例会開会 予算審査特別委員会 議員協議会

2/28	市民との意見交換会実施報告会 各会派代表者会議
3/6	議会運営委員会
3/12	各会派代表者会議
3/16	議会運営委員会
3/18	市民福祉常任委員会 経済建設常任委員会
3/20	議会運営委員会
3/23	議会運営委員会 予算審査特別委員会(～24日)
3/25	令和2年第1回定例会開会 議会運営委員会 各会派代表者会議

※名寄振興公社のあり方に関する特別委員会を『名寄振興公社あり方特別委』と略して表記

令和2年第1回定例会議決結果

議案番号	件名	結果
議案第1号	名寄市印鑑条例の一部改正について	原案可決
議案第2号	名寄市へき地保育所条例の一部改正について	原案可決
議案第3号	名寄市営住宅管理条例の一部改正について	原案可決
議案第4号	工事請負契約の変更について	原案可決
議案第5号	専決処分した事件の承認について	承認
議案第6号	専決処分した事件の承認について	承認
議案第7号	令和元年度名寄市一般会計補正予算(第9号)	原案可決
議案第8号	令和元年度名寄市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第9号	令和元年度名寄市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第10号	令和元年度名寄市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第11号	令和元年度名寄市個別排水処理施設整備事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第12号	令和元年度名寄市食肉センター事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第13号	令和元年度名寄市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第14号	令和元年度名寄市立大学特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第15号	令和元年度名寄市病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第16号	令和元年度名寄市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第17号	令和2年度名寄市一般会計予算	原案可決
議案第18号	令和2年度名寄市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第19号	令和2年度名寄市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第20号	令和2年度名寄市食肉センター事業特別会計予算	原案可決
議案第21号	令和2年度名寄市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第22号	令和2年度名寄市立大学特別会計予算	原案可決
議案第23号	令和2年度名寄市病院事業会計予算	原案可決
議案第24号	令和2年度名寄市水道事業会計予算	原案可決
議案第25号	令和2年度名寄市下水道事業会計予算	原案可決
議案第26号	名寄市教育委員会委員の任命について	同意
議案第27号	令和元年度名寄市一般会計補正予算(第10号)	原案可決
議案第28号	名寄市債権管理条例の制定について	閉会中審査決定
議案第29号	令和元年度名寄市一般会計補正予算(第11号)	原案可決
議案第30号	令和2年度名寄市一般会計補正予算(第1号)	原案可決

《賛否の分かれた議案》

※○(賛成) ×(反対) 欠(欠席) 退(退席)

議案番号	件名	議員名	市民ネット					市政クラブ					議	公	共				
			富岡	倉澤	山崎	佐久間	佐藤	高野	三浦	今村	五十嵐	遠藤				清水	塩田	東川	山田
議案第17号	令和2年度名寄市一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×
議案第18号	令和2年度名寄市国民健康保険特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×
議案第21号	令和2年度名寄市後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	

※公(公明) 共(日本共産党) 議(議長) ※議長は表決に加わりません。

令和2年

第1回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

- ◎新たな過疎対策法の制定に関する意見書
- ◎温暖化へのさらなる対策を求める意見書
- ◎新型コロナウイルス感染症の早期終息及び経済対策の強化を求める意見書

令和2年第1回定例会の代表質問・一般質問を新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために取りやめたことから、名寄市議会基本条例の規定に基づき、予定していた質問通告内容について市長に対し文書で質問を行い回答を得ています。その内容について、予定していた質問内容と市長からの回答を要約し掲載します。なお、通告内容および市長からの回答内容の全文は、議会ホームページに掲載しています。

代表質問

加藤市政3期目中間点の評価



市政クラブ

山田 典幸 議員

問 加藤市政3期目の中間点を迎えて、前半2年間の評価と今後の市政運営と将来のまちづくりに対する考え方は。

答 昨年は名寄振興公社、名寄社協指定居宅介護支援事業所、王子マテリア(株)名寄工場の問題など、過去にない問題が発生した。解決に向けてスピード感を持って対応を続ける。新年度は総合計画の着実な推進のため、新規事業にチャレンジする予算案とした。行政評価などを活用し、PDCAサイクルによる事業の改善を行い、施策のブラッシュアップが図られてきていると考えている。今後に限られた予算の中、圏域の中核都市としての役割や、本市が持つ都

市機能を維持しながら「名寄市立地適正化計画」など、まちのデザインを具現化していく施策に取り組んでいく。

地方創生総合戦略の推進

問 昨年度の地方創生推進交付金の対象事業に「地域資源を活用したスポーツ交流インベシヨンプロジェクト」が採択されたが、現在の取り組みの状況と今後の可能性は。

答 現在、交流が深い台湾からのインバウンドを狙ったサイクルツーリズムのモニター事業やカーリング合宿の受け入れなど、商品化に向けた取り組みを進めている。また、スポーツフードの商品開発においては販売段階まで進んでいる。スポーツによる経済活性化の可能性を持つ事業であ

り、Nスポーツコミッションの横のつながりを活かし、広く地域に還元できるように努めていく。

名寄市立大学新学長への期待

問 4月に着任予定の野村新学長に対し、設置者として期待することは。

答 昨年11月に行われた講演会で、野村新学長は今後の大学運営について、教育の質の向上、地域貢献・連携のさらなる強化、大学院の設置という3項目を方針として述べられたと聞いており、この3項目を含めた大学の将来構想を着実に推進していただき、取り巻く環境が年々厳しくなる中においても、存在意義を示し続けるために尽力いただけるものと期待している。



総合計画及び総合戦略の着実な推進を

林活議連研修会

1月28日、上川総合振興局、産業振興部林務課主幹の高和紀氏を講師に招き「北海道立北の森づくり専門学院開校の目的と役割について」と題し、講演をしていただきました。

講演では、本道の林業労働者の現状と課題、フィンランドの林業と教育、全国の林業大学の動向を踏まえて、道立北の森づくり専門学院設置の重要性について説明を受けました。

また、北の森づくり専門学院の教育と狙いについて、道内林業労働者の育成確保に向けて「即戦力や統括管理ができる人材」を2年間で育成し、森林資源を活用した地方創生を進めて行くと話されました。



「北の森づくり専門学院」開校の目的と役割を学ぶ

名寄市の確かな未来のために



市民ネット

高野 美枝子 議員

市政執行方針と予算編成

問 総合計画の考え方。重点プロジェクト総合戦略の展開。当面する名寄市の課題。道北地域の中核都市としての責任と役割について。

答 総合計画では、中期基本計画の着実な推進に向け、より効果的な手法を研究する。重点プロジェクトでは、経済元気化18事業・安心子育て30事業、冬期スポーツ拠点化8事業を展開する。振興公社・居宅介護・王子マテリア・コロナ対策など、いずれも喫緊の課題であり不安の払拭に努める。中核都市として圏域の連携項目を洗い出し協定を結び事業を実施する。

保健医療福祉行政

問 介護職員の確保。子育て

・高齢者支援。地域医療の充実について。

答 介護職員の新規就労者の確保、離職防止に向けさらなる検討を行う。第2期子ども・子育て支援事業計画では、第1期に引き続き6つの基本目標で進め、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援の充実を図る。高齢者支援では、地域包括ケアシステムの深化・推進、大学や病院との連携、フレイル予防に取り組んでいる。医療介護の連携では、ICTによるシステムの構築に努める。地域医療の充実では、役割分担を補完し合うための連携の強化が優先課題となる。

経済建設行政

問 災害対策。まちの賑わいと公共施設のあり方について。

答 あらゆる災害に対応できるように危機感を持って進める。名寄市立地適正化計画に具体性を持たせ、公共施設と連動した、持続可能で活気あふれる施策の実現に取り組む。**他の質問** 自然を活かした観光、公共交通などの維持・改善、持続可能な農業政策、名寄市食育推進計画、旭川大学の影響と少子化対策、市立大学の将来構想の検証、文化振興、天文台10周年記念事業、北国博物館の利用促進ほか



第2期計画により保育所の今後のあり方が決められる

議会スナツプ

ふうれん冬まつり

2月16日、ふうれん冬まつりが開催され、多くの市民で賑わいました。毎年恒例となる雪像コンテストでは市議会議員有志と仲間たちによる「マウススライダー」が奨励賞を受賞しました。

2月6日から雪像づくりが始まりましたが、記録的な少雪の影響によって材料となる「きれいな雪」を集めることはもちろん、削る前の基礎部分が非常に堅い雪質ということもあって作業は難航。さらに、完成まであと一步に迫った12日の夜半から降雨に見舞われ、完成間近の像が解けるといふ事件が発生。急遽、前夜祭当日に補修作業を行うことで何とか完成にこぎつけました。



苦勞の甲斐あって子どもたちの歓声がよく響いた当日

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します



将来を見すえた計画を

市民ネット 山崎 真由美 議員

問 全域への高速通信環境整備を

ICT化による生活の利便性向上だけでなく、産業振興にも有効な光回線など、超高速ブロードバンド基盤の市内全域への整備およびGIGAスクール構想による学習環境の整備について、将来を見すえた計画を伺う。

答 情報通信基盤の整備は、国においても推進している。未整備地区の要望内容や整備後の維持管理を含め、費用対効果が少しでも高くなる方法の精査を進めるとともに、有利に活用できる補助金などがないか今後も注視していく。また、GIGAスクール構想として示された国の方針に沿って、一人一台端末および高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、令和5年度末、児童生徒が一人一台の端末を持って教育が受けられるよう計画的に整備する。

問 緑の基本計画策定の考えは

緑地保全や緑化の推進、公園や街路樹の管理に関わる緑の基本計画策定の考えは。

答 名寄市都市計画マスタープランおよび立地適正化計画の中での方針を基本姿勢とし、公園や緑地、街路樹などの適正な維持管理に努め、緑に関する施策、事業を計画的に実施していく。

他の質問 新型コロナウイルス

スに対する予防策について、感染が確認された場合の回復までの対応についてほか



令和5年度末には一人一台端末が実現



安全安心なまちづくり

市政クラブ 遠藤 隆男 議員

問 農業振興について

外国人技能実習生の受け入れの状況について伺う。

答 現在J/A道北なよろにおいて手続き中だが、中国国内の手続きに時間を要しており、当初の予定より遅れる可能性はあるものの受け入れに向け手続きを進めている。また、実習生については上陸拒否の対象となる省から離れた地域の方であり、現時点で特に制限は受けておらず、入国後の対応についても実習生および地域の安全・安心の確保に向け、必要な検討をしていく。

名寄駐屯地の今後について

問 名寄駐屯地の充実などを求める要望内容について伺う。

答 名寄駐屯地の隊員確保と増強促進を図り、名寄地域市町村の振興発展に寄与することを目的に設立された陸上自衛隊名寄駐屯地増強促進期成会により、道内選出などの国

會議員、各関係省、陸上幕僚

監部、北部方面総監部などへ、

人員のさらなる充実と再編強化、隊舎の増改築、官舎の無料化拡大などを要望。今後地域経済や地域の安全を守るため、期成会を中心に北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会や関係市町村と連携を図り、引き続き要望をしていく。

他の質問 地域農業の総括、

新規就農者の現状と今後の推移、農業振興センターの役割、名寄市における名寄駐屯地の役割



地域と共に歩む名寄自衛隊

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです

「子育て世代包括支援センター事業」を開始し、切れ目なく必要な支援につなげる。3月からは、子育ての様々な相談にワンストップで対応しながら必要な支援につなげる。健康診査、産後ケア事業など、支援強化を図っている。本年さらに保健センターでは、特定不妊治療助成事業や妊産婦健康診査、産後ケア事業など、支援強化を図っている。本年3月からは、子育ての様々な相談にワンストップで対応しながら必要な支援につなげる「子育て世代包括支援センター事業」を開始し、切れ目なく必要な支援につなげる。



親子でも相談しやすい保健センターの個室スペース

バックカントリーについて
バックカントリーの対応について伺う。



インバウンドが期待されるピヤシリススキー場

人口減少の取り組みについて

問 多様化する個人の生き方を尊重しつつ出生数の減少を抑えるためにも、名寄で安心して生み育てていける環境づくりへの取り組みが必要と考える。本市の考えは。

答 平成30年度出生数は219人。本年度は180人程度まで減少する見込み。子どもを望む方への経済的な負担や育児不安を軽減する支援策が必要と考える。昨年4月からは家庭児童相談員に加え、新たに子ども家庭支援員を配置し、必要な支援を行う家庭総合支援事業を開始している。

他質問 犯罪被害の現状と防止策について、市内防犯カメラの設置状況と今後の設置計画について、学校における防犯教育の現状と推進について

問 担い手不足の現状と課題は

答 町内会、消防団、PTAなどの地域を支える各団体は、担い手不足により活動に支障をきたしている現状がある。それぞれの課題に応じた支援を行っている。

問 地域を支える各団体の担い手不足の現状と課題は

インバウンドスキー客の取り組み

問 本年度のインバウンド(訪日外国人) スキー客の現況と受け入れの取り組みについて伺う。

答 2月1日に外国人の入り込みが過去最高となり、以降も欧米系外国人が多く訪れた。スキー場の雪質について尋ねると、高い評価であった。長期滞在していた外国人の多くは、キャンピングカーで駐車場に滞在し、スキー場、風呂、食事はなよろ温泉サンピラーを利用。1月30日から2月3日頃までは、複数の外国人グループが宿泊していた。外国人の受け入れ施策について、全道・全国的な雪不足による特需であった側面があることから、来シーズンもこの流れを逃さないために、外国人に向けたPRを検討する。

他質問 冬季スポーツ拠点化について、台風19号被害における教訓について

住みよい名寄を目指して

市政クラブ 五十嵐 千絵 議員

冬の観光について

市政クラブ 清水 一夫 議員

答 ピヤシリススキー場で、バックカントリーを目的とした欧米系中心のインバウンド受け入れの可能性を検討するに当たっては、管理区域外の安全性の確保、救助体制の確立、地元専門ガイドの同行の場合に可能とするかどうかなど、様々な課題を検討する必要があると認識している。

他質問 冬季スポーツ拠点化について、台風19号被害における教訓について

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します



市民への積極的な情報発信を

市民ネット 倉澤 宏 議員

情報発信と共有について

問 広報広聴のあり方と市民への情報発信の手法は。

答 広報事業としては広報誌の作成、ホームページ、SNSによる情報発信、各課において各種施策の周知として住民説明会を適時開催している。広聴事業としては出前トーク、市長室開放事業、ふるさと未来トークなどを実施。記者会見は非常に重要な情報提供手段であり、記事情報の提供、取材協力などを積極的に行うとともに、必要な時期に適切な手法による市民との情報共有に努める。

空き地・空き家対策について

問 空き家などの現状は。

答 平成29年度、30年度で調査をした結果、249件の空き家が確認されている。また、所有者不明の家屋や土地について



各種情報が掲載されている名寄市公式ホームページ

は13件となっている。

問 空家等対策計画の進捗と今後の取り組みは。

答 平成29年度、30年度に調査した結果をもとに空き家データベースを確立。空き家バンクについては現在のところ登録は無いが情報発信できるツールとして維持している。現計画に盛り込まれている空き家等の除却に係る助成制度のあり方については新年度、空家等対策協議会において次期計画の策定と併せて議論を深めていく。特定空家等の認定に対する考えは、行政代執行の費用回収などの問題により慎重にならざるを得ない。

今年度の寄附状況について

問 今年度の納税実績と返礼品別の分析について伺う。

答 寄附件数4700件余りで金額にして4900万円程度となる見通し。また、寄附の多い返礼品は、スイートコーンやメロンなどで、農産品の人気が高い。

問 次年度事業について伺う。

答 新制度の運用により寄附単価の引き上げを検討。また、新たな取り組みとして、申し込みの受付期間の変更や特産品を分けて送る定期便などを検討。

問 企業版ふるさと納税について伺う。

答 国の第2期総合戦略と名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略との整合性を図った見直しを行い、地域再生計画を内閣府に提出し、本年3月下旬に認定予定。また、企業版ふるさと納税も視野に入れた事業の組み立ての必要性が

ふるさと納税について

市政クラブ 三浦 秀 議員

あるとともに、寄附をきっかけに企業誘致の交渉につながるなど、様々な可能性があると考える。

再エネの活用について

問 再生可能エネルギーの活用とエネルギー問題に対する考え方について伺う。

答 名寄市総合計画で、環境との共生を主要施策として掲げており、地球温暖化問題の解決や自然環境の保全を目指している。具体的な取り組みとして学校施設に太陽光発電設備を設置している。さらに、地域特性を生かした再生可能エネルギーとして、ゆきわらべ雪中蔵に雪氷熱を導入している。新たな公共施設整備や大規模改修事業の際に再生可能エネルギーの導入を検討する。



再生可能エネルギーの普及を

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



市民の信頼回復を

市民ネット 佐藤靖 議員

監査からの指摘を問う

問 名寄振興公社の不正な資金調達から、コンプライアンスやガバナンスについて疑問視される中、監査委員から学校給食会の450万円を超える過年度剰余金、条例で定め

た額を超えて定めていたよろーなの屋外イベントスペース全日利用料金、キャンセル料の解釈などが改善を求められたが、どう対応したのか。

答 特に、利用料金については利用者への不利益を与えてはいないが、チェック不足により、監査に確認されるまで気付かず、お詫びするとともに、指定管理者の確認の徹底を求め、市も十分な確認をするよう事務の徹底を図る。

新たな誇りの創造を

問 昨年発生した不祥事、事案により、名寄市のイメージダウンは否めない。この際、名寄出身者で全国的に知られる功績者を紹介する場、ある



条例を超えた利用料が設定されていた「よろーな」

いは名寄出身のミュージシャンらを一堂に会したイベントなどを7月4日午後6時（なよろ）に開催する試みは。

答 提案内容を含め、今後そのような形で市民が誇りを取り戻すための取り組みが可能か検討したい。

他の質問

市役所機構のあり方について、高校進学者支援について、子どもたちの学ぶ環境について、教育施設改修について、名寄市立総合病院・名寄市立大学の将来展望について



地域経済の活性化

市政クラブ 塩田昌彦 議員

経済対策について

問 仮称「名寄市商工業振興基本計画」策定による効果について伺う。

答 基本計画は、中小企業・小規模事業者が厳しさを増す中、本市における商工業振興に係る基本的な理念や役割などを定め、名寄市中小企業振興条例に明確に位置付けることとしている。喫緊の課題は、

事業承継や創業支援、人材育成であり、基本計画の検討と併せて、時代に合った支援策の見直しについて検討を進める。

地域経済活性化に向けた取り組みについて伺う。

答 予算編成に際しては、市内業者を優先して見積書を徴収するよう職員への周知を図るとともに、昨年12月からは企業における資金調達の円滑化なども図るよう努めている。今後も発注方法の工夫をするなど、引き続き地元業者への

優先発注に取り組む。

経済の活性化について

問 新型コロナウイルス対応による地域経済への影響と対策について伺う。

答 影響は甚大であり、市独自の支援策が必要であると考へ、商工会議所および商工会と協議し、中小企業や小規模事業者に対しては、既設の運転資金に係る制度融資とは別枠で、融資制度を創設することを検討している。

他の質問

名寄市公の施設に係る指定管理者の指定手続きなどについて、医療・福祉の対策について



地域経済の活性化が求められる

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します



3密回避で外出自粛を

公明 高橋伸典 議員

新型コロナウイルス感染症への対策を

問 コロナウイルス感染症は、日本全国に広がり名寄市民は不安な生活を送っている。不安解消のため市民周知などの取り組みは。

答 市民周知については、手洗いや咳エチケットの励行と相談体制を広報誌と同時に配布したチラシで行ったほか、ホームページでも情報提供に努めている。教育行政の取り組みは、小中学校と高校は春休みまで休校により感染対策を図り、1号認定の幼児教育は学校と同様の対応。2号認定の保育は、予防の対策に努め保育を続けている。特別養護老人ホームの清峰園としらかばハイツは全職員マスク着用と検温、面会禁止、消毒などを行い、他の介護保険事業所と障がい者施設でも可能な限り感染症対策を行っている。市立総合病院の感染症病棟は3室4床が整備されている。

感染症疑い症例が発生時に臨時対応となり、緊急対策チームを立ち上げ医師・看護師の当番割振りを行ったり、機材と診療材料を配備し、受け入れ体制を整える。

子どもが一生懸命遊べる場の確保を

問 雨天・冬期の子どもの遊び場は。

答 早い段階で検討を進める。他の質問 寡婦・寡夫控除への対応、ヒヤリンググループの必要性、総合窓口の対応についてほか



子どもがのびのび育つ名寄を



地域経済活性化のために

日本共産党 川村幸栄 議員

商工業の振興を図るために

問 王子マテリア(株)名寄工場撤退による、市内経済への影響は計り知れない。市の中小企業は99・8%を占め地域経済の活性化や雇用を支えている。若者の働く場の確保、高齢者が住み続けられるまちづくりが目に見えるようにすることが急務。名寄市中小企業振興条例の有効活用に対する考えは。

答 本年2月に中小企業振興審議会を開催し、「名寄市商工業振興基本計画(仮称)」の令和2年度内の策定を諮問している。

問 新たな産業と雇用、中小企業の仕事づくりの取り組みは。

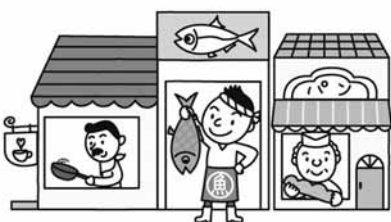
答 中小企業振興審議会および検討委員会で審議していただきたいと思う。労働力不足の農業者と大学生とのマッチングや障がい者の適性に応じた雇用が注目されている。6

次産業化の取り組みとしてトマトジュース、新たにワイナリー、「なよろ天牛」がある。

2040年の自治体行政のあり方は

問 高齢化がピークを迎え、若い勤労者が激減する2040年頃、地方自治体職員が今の半数でも対応できる仕組みを作ると言われている「自治体戦略2040構想研究会」の報告が公表されている。行政職員の減で市民サービスや高齢者対応、災害時の対応などに不安があるが。

答 報告は、自治体に必要なサービスの維持の準備を促すものと考えられる。本市において課題もあると認識している。



商店街の活性化と共に地域経済の安定を

名寄振興公社のあり方に関する 特別委員会審議経過

従業員の意識改革進む

1月20日開催の委員会では、公社社長の橋本副市長より、昨年12月17日以降の運営状況について説明を受けました。

橋本副市長からは公社の現状として、これまで、組織として縦割り意識が強く、セクションごとの連絡体制、情報の共有が図られていなかったことが課題であり、経営そのものに対する意識が不足していたことが見えてきたとの認識が示されました。

何回かの訓示の機会を通じて、公社は、名寄市の重要な事業を担っている会社組織であること、その責任と自覚を持って公社が生まれ変わったという姿を見せるべく、外部委員の方と試行錯誤しながら取り組んで行くことを確認。具体的には情報ボックスを設置して利用者の声を全体で把握できるようにしたほか、従業員同士の連絡は口頭でなく、文書管理に切り替える改善を

行った。また、事務所にタイムカードを設置し、一日最低2回従業員が事務室に顔を出す環境を整備し、コミュニケーション体制の充実を図ることで、従業員の仕事に対する意識改革が進んでいる。レストランの原価計算、今後の経営に向けて取締役会の強化などの課題も示されました。



従業員の意識改革が進む名寄振興公社

委員会審議6月まで継続

2月19日の委員会では、橋本副市長より、公社経営の状況、今後の考え方について説明を受けました。公社はスリーシーズン途中のため、2



審議を6月まで継続することを確認

019年度決算や部門別の分析が精査しきれず、4月からという戦略を持ち事業展開をしていくか、決算と照らし合わせて、より詳細に詰めていく作業が必要。このことから市の追加支援は新年度になり、年度内の資金不足は公社が自力で借入対応するとの考え方が示されました。

この説明を受け、委員間議論を行い、現状では課題が解決されてなく、将来を見据えた経営改善計画が示されていない。また、あり方に関する議論が不足しているなどの意見が出され、6月までを目的に特別委員会を継続することが確認されました。

企業会計に関する研修会

1月15日、名寄振興公社のあり方に関する特別委員会では、公社の会計について理解を深めるため、検証委員会の外部委員である公認会計士の渡邊靖雄氏を講師に招き、研修会を開催しました。

渡邊氏からは、財務諸表の読み方として、資産と負債で構成する貸借対照表と収益と費用で構成する損益計算書について、ポイントをわかりやすく説明していただきました。

その後、公社の経営改善計画で示された、グッドシナリオ、バッドシナリオに置き換えて説明をしていただき、最後に地域政策を推し進めて行く上での、第3セクターに対するの関わりなど、理解を深めることができました。



企業会計に関する専門知識を学ぶ

令和2年度予算審査特別委員会

全会計454億6230万8千円を可決

第1回定例会において、令和2年度の各会計予算について、全議員で構成する予算審査特別委員会（山田典幸委員長・山崎真由美副委員長）を設置し、付託された予算案を審査しました。

市の令和2年度予算は、一般会計では前年度比1・1%増の209億264万4千円、特別会計5会計では前年度比13・1%減の86億3440万9千円、企業会計を含む全会計総額は前年度比4・0%増の454億6230万8千円となりました。

3月23日から24日の2日間で実質審査を行い、最初に各会計全般に関する総括質疑を各会派の代表2名により行い、その後、委員による質疑が行われました。市ホームページや広報を通じた情報発信、防災対策、健康増進や医療・福祉行政、子育て支援に関する事業、農業に関する施策、除雪や道路改良事業、学校・社

会教育行政、冬季スポーツに関わる今後の展望、さらには市立大学と市立総合病院の健全な運営など、様々な施策や事業について幅広い分野にわたり、全体で89件の質疑が行われました。

審査の結果、一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計については賛成多数により、その他の特別会計と企業会計は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定し、3月25日の本会議で委員長報告を行いました。



山田典幸委員長（左）と山崎真由美副委員長（右）

予算審査特別委員会での質疑の一部を掲載します

保育所整備事業費

問 保育所の建設場所の想定は。また、施設の複合化の考えは。

答 名寄市立地適正化計画の都市機能誘導区域内の災害リスクの少ない場所を想定し、南北の2か所に整備を予定している。また、保育所とこども発達支援センターの複合化を検討していく。

食育推進事業費

問 食品加工を行っている企業の支援による食育推進を行っていくことはできないか。

答 ホクレンやカルビーには食育チームがあり、実際に小学校での活動を行っていただいている。また、地産地消フェアでも支援をいただいた。今後も広く活用させていただきながら食育の推進につなげていきたい。

感染症対策事業費

問 新型コロナウイルス感染症に対する予算は確保できているか。

答 これまで保健センターで使用する消毒剤などを購入してきたが、今後マスクなどを含めた備蓄も必要となるので確保していく。緊急的な対応が必要となった場合は補正予算などの対応も含め、速やかに対応していく。

冬季スポーツ拠点化事業費

問 今年度はジュニアオリンピックが中止となったが今後も誘致は継続していくのか。

答 今年度は中止となり市内経済への影響も含め残念に思っているところだが、誘致に関しては毎年開催場所の協議が行われているので、今後も継続して開催できるよう誘致活動を行っていく。

予算審査特別委員会総括質疑



課題解決に向けた事業運営を

市政クラブ 東川孝義 委員

歳入の見直しは

問 地方交付税が前年より増額となっている要因は。また、経常収支比率が上昇傾向にあるが今後の考え方は。

答 交付税は直近の国の仮試算で推計したため中期財政計画との比較で減額となった。経常収支比率は上昇傾向にあり、王子マテリア(株)名寄工場生産品集約などの影響を考えるとさらなる経費縮減が必要。

問 基金運用の考え方は

答 基金の望ましい運用と積み立て方は。

問 財政調整基金の繰り入れが続いていることは認識しているが、市民ニーズに応えた施策や各種課題への対応には必要であり、繰り入れを最小限に抑え、特定財源の確保に努め、残高を確保したい。

公共施設の適正配置は

問 立地適正化計画を踏まえ、現在3カ所ある市立保育所整備の考え方は。

答 立地適正化計画の都市機能誘導区域内に移転させるとともに、南と北の2地区に1カ所ずつ整備する考えである。

問 新型コロナウイルスの影響を受けている市内経済への喚起策は。

答 飲食業への消費喚起対策の補正予算を準備している。国の施策動向を注視しながら、市ができる効果的な施策をスピード感を持って主体的に考え対応して行く。

問 新型コロナウイルスの影



公立保育所を南北2カ所へ整備



市の根幹を揺るがす事態

市民ネット 佐藤靖 委員

矛盾打破し、名寄を守れ

問 新型コロナウイルスによる感染防止のため、市内では37の公共施設休館、各種会議の自粛が続ぎ、市内経済はさまざまな業種で大きな打撃を受けている。また、人口減少下で10月に実施される国勢調査の影響、さらには来年末の王子マテリア(株)名寄工場生産品集約などと、まさに名寄市の根幹を揺るがす事態に直面している。将来に禍根を残さない財政堅持と大胆な財政支出という矛盾はあるが、この矛盾を打破して地域を守る時ではないか。

答 さまざまな面で影響は大きいものがある。効果的な対応で乗り切りたい。

問 予算配分方式の効果は

答 今回、一般財源ベースで各部署ごとに配分枠を決め、総額1億円を減額して臨んだが、効果と今後の対応は。

問 目標達成とはならなかつ



新型コロナウイルス感染防止で2月24日のふうれんスキー場まつり以降、市内行事の中止が続いた

だが、約4000万円の削減が図れた。今回の結果を踏まえ、来年度も同様の手法で臨む。大胆な見直しも必要。

問 これまでの想定外の事案、さらには公共施設の老朽化などを考えると、総合計画のローリングのあり方、財政規律の見直しが必要な情勢下ではないか。

答 財政面において厳しさを増す状況となるが、しっかり情報収集に努めながら、禍根を残さない対応をする。

問 財政面において厳しさを増す状況となるが、しっかり情報収集に努めながら、禍根を残さない対応をする。

総務文教常任委員会活動報告

第1回委員会を2月3日に開催し、総務部からは、名寄市自治基本条例の見直し検討について、検討委員会正副委員長より「名寄市自治基本条例に関する意見書」が12月3日に提出され、現段階において条例の見直しの必要性はないが、市民周知及び市民参加の観点でさらなる取り組みを求める意見が付記された。また、名寄市債権管理条例の制定については、適正な債権管理を行い市民負担の公平性確保を図る旨の報告がなされました。総合政策部から名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定を令和2年4月に行う。JR宗谷線における利用の極端に少ない智北駅・日進駅・北星駅の維持管理への対応状況について、聞き取りを行った。王子マテリア(株)名寄工場に関する取り組みの状況について、1月16日に第4回緊急対策本部会議が行われ、事務担当レベルで検討部会を設置し具体案を作成する。プ



小中一貫教育が進められる智恵文小中学校を視察

レミアム付商品券発行事業の購入引換券販売状況と購入期限・利用期限について報告を受けました。会議後、智恵文小学校、智恵文中学校、児童センター(ほっと21)の現地視察を行いました。

第2回委員会を2月18日に開催し、教育部より令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について、全小学5年生と全中学2年生を対象に行われ、筋力や筋持久力、柔軟性、跳躍力、投力

が優れていた。反面、中学男子では、全身持久力に課題が見られた。また、社会教育施設の開館時間及び休館日の変更(試行)では、市立名寄図書館・風連分室の開館時間の変更となる市立天文台の休館日について説明を受けました。さらに、名寄市立大学の授業料等徴収条例施行規則の一部改正、名寄市立大学一般入試志願状況、旭川大学の公立化、佐古学長退任最終講義、名寄市内2高等学校の今後の見直しについて説明を受けました。



不登校やいじめに対応する老朽化が進む児童センターを視察

議員協議会

2月25日、議員協議会が開催され、三案件について説明を受けました。「名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂の素案について」では、従来の戦略を踏まえつつ、未来技術の活用、関係人口の創出などの新たな視点を導入し、令和2年4月の改訂を目指す。

「第2期名寄市子ども・子育て支援事業計画の素案について」では、令和2年度から令和6年度の5年間で計画期間とし、家庭・地域・事業所・行政・関係機関などがそれぞれの立場において、子どもや子育てに関する支援に取り組むための指針となる計画とする。

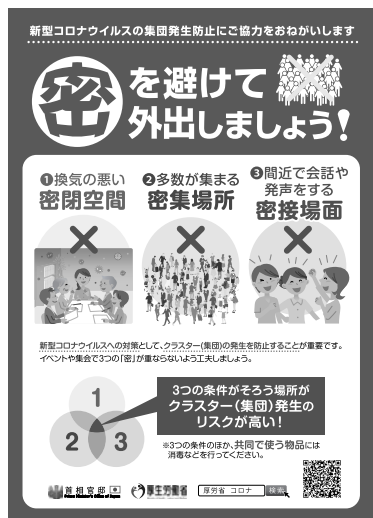
「新型コロナウイルス感染症に対する市の対応について」では、名寄市感染症危機管理対策本部を設置し、市民などへの感染予防対策の周知や市民からの問い合わせに対応していくなどの説明を受けました。

また、名寄社協居宅介護支援事業所に対する監査についての経過報告がありました。

市民福祉常任委員会活動報告

1月21日の第1回委員会では、市立総合病院から新名寄市立総合病院事業改革プラン点検・評価、医療費未収金回収（公財）日本医療機能評価の受審について、健康福祉部からは令和元年第4回定例会付託議案第1号「名寄市基幹相談支援センター条例の制定について」、名寄社協居宅介護支援事業所の介護職員（ケアマネジャー）業務に関するこれまでの対応について報告を受け、質疑を行いました。委員会の取り組みテーマである「高齢者社会における健康寿命の延伸について」スケジュールなどの確認をしまし

た。2月6日の第2回委員会では、健康福祉部から令和元年第4回定例会付託議案第1号「名寄市基幹相談支援センター条例の制定について」の追加説明を受けたほか、他市町村の条例の状況や名寄市の相談支援の状況、名寄市第2期子ども・子育て支援事業計画、新型コロナウイルスに関連した肺炎への対応について報告を受け、質疑を行いました。常任委員会での取り組みテーマの推進に向けて協議を行いました。2月17日の第3回委員会では、市民部から令和2年度税制改正の大綱（概要）・「国民健康保険税限度額の引上げ」



一人ひとりが予防対策を実施することで新型コロナウイルス感染拡大の早期終息を願う

および「軽減措置の拡充」、名寄市印鑑条例の一部改正、一般廃棄物処理広域化基本計画の改定について報告を受け、質疑を行いました。健康福祉部から第1回



早期解決が望まれる名寄社協居宅介護支援事業所不正受給の問題

定例会提案予定の条例の一部改正、主な補正予算。市立病院から第3四半期までの収支・令和2年度市立総合病院診療体制・令和元年度患者満足度調査結果について報告を受け、質疑を行いました。3月18日の第4回委員会では、健康福祉部から令和元年度における介護保険法および地方自治法の規定に基づく事務に対する実地指導の結果、新型コロナウイルス感染症に対する公共施設の対応、第2期名寄市子ども・子育て支援事業計画（素案）に対するパブリックコメント手続きの実施結果について報告を受け、質疑を行いました。

議員会新年研修会

1月17日、議員並びに議会事務局職員で新年研修会を開催しました。研修会は名寄市立総合病院長、名寄市立大学学長として名寄市に長い間貢献していただき、本年度で市立大学学長を退任される、佐古和廣学長に「市立大学の将来構想」について講演をしていただきました。

講演後の佐古学長を交えての懇親会では、東議長から「昨年の選挙で新人7人を含む新しい議会構成になりました。名寄市は現状重要な案件を抱えています。前向きに捉え、力を合わせ早期解決を目指し、市民から信頼される議会を目指します。明るい一年になりますように。」とのごあいさつがあり、議員間で懇親を深めました。



全議員で市政発展を目指します

経済建設常任委員会活動報告

令和2年第1回委員会を、1月20日に名寄商工会議所で開催しました。当委員会では「産業振興による地域経済活性化とまちづくりについて」を調査・研究のテーマとして、市内各関係団体と意見交換を行うこととしており、今回名寄商工会議所と意見交換を行いました。市内商工業の状況や、商工会議所から市に対して提出された、「令和2年度



名寄商工会議所との意見交換を開催

行政施策に関する要望書」の内容について説明を受けた後、意見交換を行い、商工業振興基本計画の早期策定に向けて、王子マテリア(株)名寄工場生産品集約の影響と今後の対策、官公需受注機会の確保、中心市街地の空き店舗対策について、物流拠点の構築についてなど、多くの課題に対して意見が交わされ、市内商工業の抱える課題について共通認識が図られました。

第2回委員会は2月14日に開催され、経済部からは王子マテリア(株)名寄工場に関しての取り組み状況について、各種交流事業について、第1回定例会提出予定の補正予算の概要について、母子里牧場未利用地の貸付について報告を受けました。建設水道部からは令和元年度道路除排雪事業について、名寄市営住宅管理条例の一部改正について、第1回定例会提出予定の補正予算の概要について報告を受けました。



早急な経済対策が求められる

3月18日に第3回委員会を開催し、経済部から新型コロナウイルス感染症による影響に対する経済対策に関して、市の新たな融資制度の内容、消費拡大支援としてのプレミアム付き商品券発行事業の概要について説明を受けました。その他今定例会に提出予定の補正予算の概要について、名寄で人づくり事業の改正について、名寄市ずっと住まいる応援事業の改正についてそれぞれ報告を受けました。

議会運営委員会活動報告

令和2年第1回定例会の日程及び議事運営などを協議するため、1月17日から3月25日まで委員会を8回開催しました。

2月21日の委員会では会期を2月25日から3月26日まで31日間とすることを確認。上程議案は26件で、議案第17号令和2年度名寄市一般会計予算のほか、5特別会計予算と3企業会計予算を、全議員で構成する予算審査特別委員会に付託し、審査することとしました。

次に、市民との意見交換会の開催については開催日・開催場所・班編成報告事項の内容を確認しました。

その後の委員会では、新型コロナウイルス感染症に対する議会対応について協議を行い、会期・日程などの変更や令和元年度名寄市一般会計補正予算及び追加議案、令和2年度名寄市一般会計補正予算について審議することを確認しました。

新型コロナウイルス感染症に対する議会の対応について

世界的な広がりを見せる新型コロナウイルス感染症に対するこれまでの議会としての対応についてお知らせします。

当初、議事日程を3月9日代表質問、10・11日を一般質問として予定をしていました。しかし、2月29日に出された国の方針として、ここ2週間が重要との見解が示されたことから、代表質問を16日に、一般質問を17・18日に変更を検討していましたが、北海道が出した「緊急事態宣言」と合わせ、19日まで公共施設などの閉鎖を決めた名寄市と、感染拡大を防ぐ意味から足並みをそろえて、代表質問、一般質問を中止することとしました。すでに、通告を済ませている質問を議会基本条例第11条第3号の規定により文書での回答を求めることとし、16日に市長より文書での回答を受け取りました。

その内容について議会ホームページには全文を、議会報には概要を掲載することとしました。また、この間、傍聴は認めないと判断させていただきました。

「緊急事態宣言」終了翌日の20日は祝日ではありますが、議会を開会し、新型コロナウイルス感染症にかかる緊急対策として補正予算案を原案通り可決しました。また、予算審査特別委員会以降の日程は、傍聴を認めることとさせていただきます。

予算審査特別委員会は、説明員は最低限とし、期間を短縮し23・24日の2日間で集中審査を行い、25日に定例会を閉会しました。



令和元年度における行政視察の受入状況

全国の市町村議会から行政視察を受け入れていますので、受入内容をお知らせします。

視察年月日	自治体名（議会名）	視 察 事 項	視察人数
令和元年 5月28日	石川県白山市	利雪親雪推進事業について 北国博物館現地視察	3名
令和元年 6月25日	千葉県東金市	防災訓練について	9名
令和元年 7月 4日	栃木県真岡市	日本一の農産物を活かした事業展開について (名寄もっともち米プロジェクト)	8名
令和元年 8月 6日	東京都羽村市	なよろ市立天文台の概要について	4名
令和元年 8月 7日	群馬県太田市	もっともち米プロジェクトについて 駅前交流プラザ「よろーな」について	11名
令和元年 8月 8日	埼玉県深谷市	ご当地グルメ推進事業について 駅前交流プラザ「よろーな」について	11名
令和元年 8月21日	群馬県渋川市	議会改革について 議会運営に関する特色ある取り組みについて	8名
令和元年10月16日	山形県鶴岡市	移住推進の取り組みについて	7名
令和元年10月24日	鳥取県米子市	なよろ市立天文台「きたすばる」について	1名
令和元年10月29日	山形県尾花沢市	利雪親雪推進事業について	9名
令和2年 1月30日	滝上町	名寄市風連国民健康保険診療所の運営について	8名

☆ き ぽ う ☆



夢
名寄市西4条南12丁目 金澤 苗子

私には、中学生の頃から農業に関わる仕事がしたい、という夢があり、昨年4月に上川農業改良普及センター名寄支所に赴任して参りました。釧路市出身で、岩手県で生活した後、初めて踏んだ道北の地です。名寄市は、『もち米の里』と聞いていましたが、『赤福』で有名なもち米をはじめ、スイートコーン、アスパラガスなどの園芸作物、大豆などの畑作物、花き類、畜産物など、多様な作付け、飼育がされていると知りました。業務の中で、美味しい農産物を生産している農業者の方の支援をきちんとできるようにになりたいという気持ちが日を追うごとに強くなっています。市の基幹産業の一つである農業を支援するという形で貢献し、名寄市を盛り上げられる一人になりたいというのが今の私の夢です。



忙しくも楽しき我が釣り人生
名寄市風連町字西風連 杉坂 隆久

10代でフライフィッシングに出会い、世界13か国を釣り歩き、数多くの魚を手にしてきました。15年前にシベリア・モンゴル・道北の地で『イトウ』という魚の魅力にハマリ、人生最後はイトウ釣りにかけようと、2014年9月に西風連に移住してきました。朱鞠内湖をメインフィールドとしたイトウ釣り。その魅力を少しでも多くの人に知ってもらおうと、フィッシングガイドの仕事をしています。ガイドの仕事は5月から11月までの7か月間で、オフシーズンは鹿角や自然木を使用したランディングネットやイトウ釣り専用のロッドやフライの製作販売をして過ごしています。終の住み家としてこの地に移住して忙しい日々を過ごしていたら、あっという間に5年半の月日が流れていました。

忙しくも楽しき我が釣り人生。
名寄市風連町・・・最高です。

表紙の写真は「名寄南ジュニアバレーボール少年団」です。

名寄南ジュニアバレーボール少年団は現在、月・水・木・土・日の週5日、2年生から6年生までの21名で活動しています。混合チーム・女子チーム共に、名寄地区大会で良い成績を残し、全道大会に出場することを目標として、団員全員で切磋琢磨しながら、日々の練習に励んでいます。



編集後記

本年第1回目の定例会は新型コロナウイルス感染症拡大の予防対策として、日程変更や代表質問と一般質問の文書回答、予算審査特別委員会の日程短縮など、異例の開会となりました。この短い日程の中にも新型コロナウイルスの影響に対し、危機感と緊張感を持った議論がされました。▼東京オリンピックの延期や他国での医療崩壊など、まだまだ世界的に感染者が増加しており、決して予断を許さない状況です。本市では感染者の確認はなされていませんが、北海道の自粛要請があり、地域経済への影響が心配されているところ。▼この感染予防と消費減少のバランスが難しい中、国や北海道、自治体の各事業者や家庭に対する支援で、この難局を市民の皆様と行政と議会が三位一体となって乗り越え、一刻も早い新型コロナウイルスの終息を心から願うところです。

(三)

